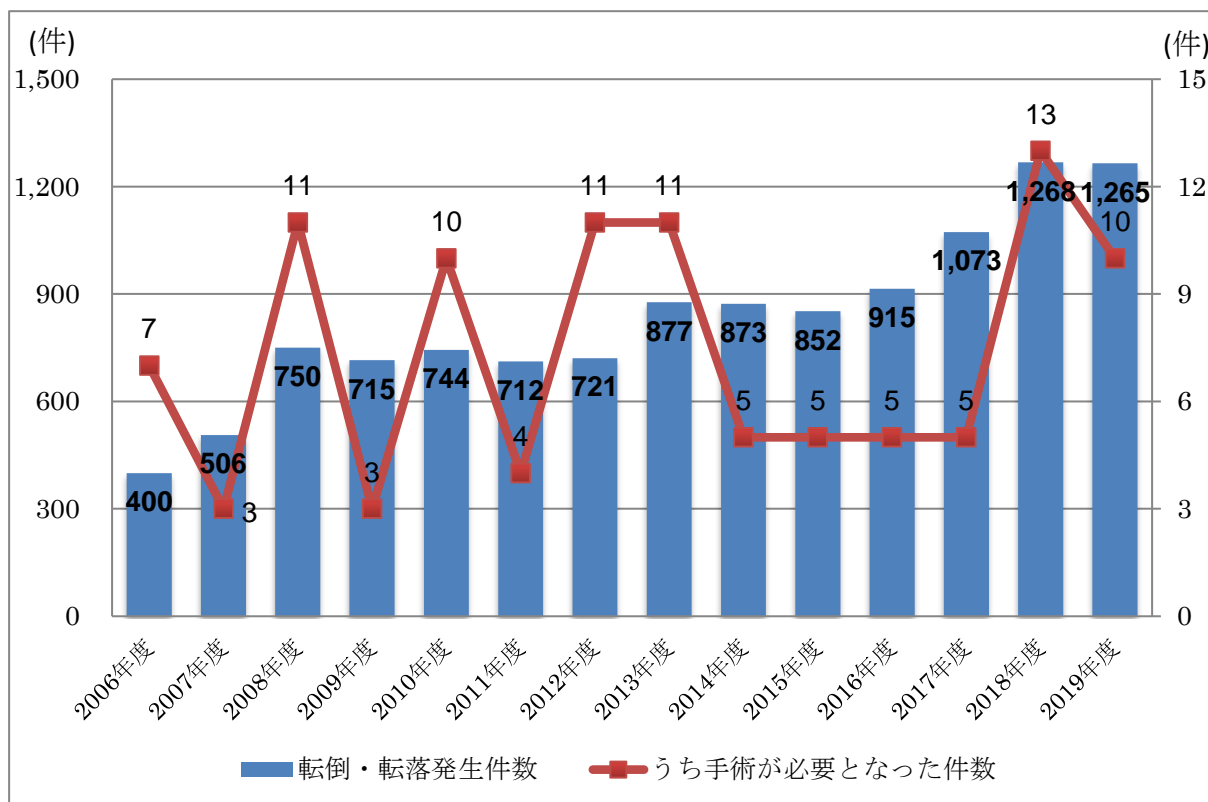


## 16. 入院患者の転倒・転落報告数と手術が必要となった件数



転倒・転落事故は、院内で発生している事故の中でも件数が多い。転倒・転落に至る患者別の要因としては加齢に伴う筋力・バランス能力の低下や、入院に伴う環境の変化、さらには疾患に伴う身体の変化や、薬剤の影響など多岐にわたる。その中には、骨折等の重大な合併症となる事例も発生しており、2018年より増加している現状である。転倒・転落のリスク低減を目標に、全ての入院患者、特定のエリア・場面の外来患者に転倒・転落リスク評価を行い、ハイリスクの患者にオレンジのリストバンド（入院患者）、オレンジのネームストラップ（外来患者）をつけ、転倒・転落リスク低減の介入を全ての職員が把握し実施できるよう取り組んでいる。

データ提供 医療の質・安全対策部 安全管理室